

宜野湾市教育委員会
教育長 仲村 宗男 殿

学校名 宜野湾市立普天間小学校
校長名 島袋 孝治 印

指定研究計画書

1. 研究主題名

コミュニケーション能力をはぐくむ指導の工夫
～児童主体となる活動の実践を通して～

2. 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、担任とALTのチームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は発達段階に応じた児童主体となる体験的な活動や場を増やし、6学年では教科担任制を導入して、より英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。

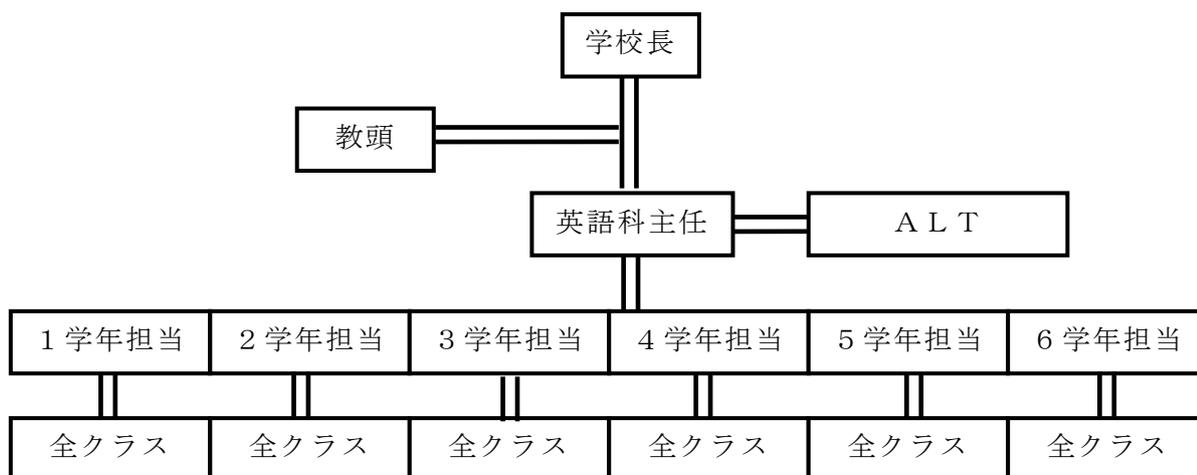
本校では、単元の目標を見据えた指導計画を作成し授業計画の段階からHRTとALTが連携して単元目標を設定しスモールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指す。

また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果を元に、児童主体となる授業改善を通して積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3. 学年・領域

全学年・英語科

4. 研究主任と組織



※6年は教科担任制により、3組担任が3クラスの英語担当とする

5. 年間研究計画

	計画内容
一学期	○英語の時間割スキル ○校内研修(英語の授業の進め方・年間計画表) ○英語の授業スタート(4月10日～) ○小学校英語スキルアップ研修会への参加 ○授業力アップ研修会への参加
二学期	○小学校英語スキルアップ研修会への参加 ○形成評価的評価(低学年・中学年) ○児童英検実施(高学年)
三学期	○実施報告書まとめ ○次年度の計画

6. 校長所見

本校は ALT が一人専任配置、一人他校と兼任配置され、低学年から英語に触れ親しむ機会があり、英語活動を見童も教師も一緒に楽しんでいる。

研究主題として、「コミュニケーション能力をはぐくむ指導の工夫」を掲げ、サブテーマとして「見童主体となる活動の実践を通して」を全職員一丸となって取り組んでいく。

本校の見童は、これまでの英語の授業を通して、語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話などを各学年の発達段階のスキルを身に付けてきている。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまうという課題が見えてきた。

そこで、学級担任と ALT が連携して、やりとりの質を高める工夫を行い、単元を貫く目標を見据えた単元計画を基に授業実践を行うことで、コミュニケーション能力の素地を育んでいきたい。

宜野湾市教育委員会
教育長 仲村 宗男 殿

学校名 宜野湾市立普天間小学校

校長名 印

指定研究補助金交付申請書

標記の件について、次のとおり交付下さるよう別紙関係書類を添えて申請します。

記

1 補助申請額 金 56,700 円

2 研究計画

① 研究主題名

コミュニケーション能力をはぐくむ指導の工夫
～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

② 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、HRTとALTのティームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は様々な指導法や体験的な活動を通しての言語の習得を行いながら、英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。本校では、ゴールを見据えたプランニングを作成している。授業計画の段階からHRTとALTが連携して単元ゴールを設定しスモ

ールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指している。また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果をベースにして、積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

③ 学年・領域
英語科(全学年)

④ 年間研究計画

	計画内容
一学期	○英語の時間割スキル ○校内研修(英語の授業の進め方・年間計画表) ○英語の授業スタート(4月12日～) ○小学校英語スキルアップ研修会への参加 ○授業力アップ研修会への参加
二学期	○小学校英語スキルアップ研修会への参加 ○形成評価的評価(低学年・中学年) ○児童英検実施(高学年)
三学期	○実施報告書まとめ ○次年度の計画

⑤ 経費の内訳

支出項目	支出予定金額	備考
画用紙	4,000	
英語教材費(資料図書)	30,000円	
消耗品	20,000	
研修費	2,700	

様式第3号（英語指導法改善研究）

補助指令書

指令第 号

学校名

校長名

令和 年5月 日付、 発第 号で申請のあった指定研究補助金（英語指導法改善研究）については、指定研究推進事業補助金交付要綱により、次の条件を付して、
円を交付する。

令和 年 月 日

宜野湾市教育委員会

教育長 仲村 宗男

1. 本補助金は、第1条に定める経費に充当すること。
2. **実績報告**、その他については「訓令」に定めるとおりとする。

※指定研究推進事業補助金交付要綱第11条

学校長又は園長は、指定研究実績報告書（様式第4号）を2月末日までに教育長に提出しなければならない。

様式第3-1号（英語指導法改善研究）

請 求 書

金 _____

令和 年 月 日付補助指令書（指令 号）により
上記金額を請求いたします。

令和 年 月 日

宜野湾市教育委員会
教育長 仲村 宗男 殿

住 所
学 校 名
校 長 名
印

振 込 先			
銀 行 名	預金の種類 (○で囲む)	口座番号	口座名義人
銀行	当 座		
	普 通		
支店名	その他		

※留意事項：振込先記載事項の確認のため、振込口座の通帳（写し：店名がわかるページ）を添付ください。

様式第 4 号（英語指導法改善研究）

発第 号
令和 年 月 日

宜野湾市教育委員会
教育長 仲村 宗男 殿

学校名

校長名

印

指 定 研 究 実 績 報 告 書（英語指導法改善研究）

令和 年 月 日付け指令第 号による指定研究を終了しましたので、
下記のとおり研究実績を報告します。

- 1 研究報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 部
 - ① 研究主題
 - ② 研究主題の設定理由
 - ③ 研究の主な内容
 - ④ 研究の成果と課題
 - ⑤ 外部評価 ※令和 3 年度より新規追加
- 2 経費の内訳状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 部